

## 第18回エコreゾート連携会議 報告

日 時：令和3年12月21日(火) 午後6時から7時40分まで

場 所：むさしのエコreゾート会場及びオンライン

参加者：計18名(会場8名、オンライン10名)

### ◇会場の様子



### ◇次第(抜粋)及び実施内容

➤第13回から第17回まで書面開催だったため、久しぶりの会場開催となった。

- 1、これまでの振り返りと現在の状況について
  - これまでの検討内容と今後の取り組みを中心に説明。
  - 施設利用ルール、サポーター事業、連携会議の今後について説明。
- 2、ワクチン接種会場使用予定を踏まえた次年度の取り組み予定
- 3、食品ロス削減の取り組みについて

◇参加者の反応(質疑応答・アンケート回答より一部抜粋)

利用ルールについて	<p style="text-align: center;">質疑応答</p> <p>➤ 準備なども含めると 9:30 からの使用や、13:30 までかかるなどのゆりい使い方が望ましいのではないか。ラップタイムがあっても良いのではないか。</p> <p>(回答) そういうニーズはあると思う。まずに DC との相談をさせて頂く。杓子定規にならず融通させていただく。</p> <p>➤ 施設の利用状況は？</p> <p>(回答) 来館者のカウンター目安は、土日 300 人・平日 200 人くらい開館後は徐々に増えてきたが、ワクチン会場から、再開館後は一旦底になり、現在増えてきつつある。来る方は子育て世代層が多い・就学前後のお子さん・ものづくり工房で工作をする楽しみにしてこられている。日々、新規の方もいらっしゃるので、認知は拡大していきたい。</p> <p>➤ 目的は環境啓発施設だと思うが、利用案内の 5-③ これは「環境活動」そのものでもいいという捉えかたでいいのか？</p> <p>(確認の質問) 環境活動とは例えば？エコ re ゾートでシンポジウムとかは環境「啓発」で、打ち合わせ、現地で環境活動をするための道具作り、組み立ては環境活動そのもの。ただ、境界があいまいのものもある。</p> <p>(回答) 団体内の打ち合わせのみは貸出対象外だが、空いていれば使える。啓発活動であれば、道具をつくるのも含めて内容を聞いてみて判断かと思う。</p> <p>➤ この貸し出し条件の DC との調整ありとのことだが、積極的に使い方を検討していくとか、貸し出しにあたって起きた問題等は連携会議で話し合うとか、を加えてもよいのでは。</p> <p>(回答) ご提案の通り。</p>
-----------	---

	<p>アンケート回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・中央公園では、犬を連れての芝生の散歩は禁止されています。エコreゾートのどんぐり・芝生広場ではよく犬と駆け回っている人を見かけますが、一方で幼児も遊んでおり、犬の糞尿とかの問題はないのでしょうか？</li> <li>・(他参加者)のご意見に賛成。あとは今示されているルールでエコreゾートを利用しながら、その中で気づいたことが出てきたら修正・補っていったりすればいいと考えます。</li> <li>・コロナ禍で具体的に動き出しが足踏み状態だが、動き出す中で現実的な事項が出た上で、検討し進めていくのが最善と思われる。</li> <li>・建物の外部架橋については、市と協働のプログラムで使うことが望ましい。</li> <li>・大階段と回廊部分の貸し出しも考えていけないだろうか。</li> <li>・「開始時期」がまだ決められないのが悔しい。</li> <li>・基本的に了解です。実行していくなかで、必要があれば修正していけばよいと思います。</li> <li>・個人利用に関しては自由とのことですが、Wi-Fi が自由に使えることが浸透すると利用者が増えるのではないかと思います。利用ルールはその都度、検討していくということですか。それは連携会議のなかでも検討することになりますか。</li> <li>・案文に利用月の6カ月前から通常予約開始と記載してはどうか。</li> </ul>
<p>サポーター制度について</p>	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 単なるお手伝いではなく、自主的な企画をしていくという認識でいいか。 (回答) 担って頂く内容によって変わる。例えば、受付はお手伝いの性質が強い。改善点は提案頂きたい。いろんなパターンの関わり方があると思う。お願いして受けて頂くモノのみではない。</li> <li>➤ 最終的には市民が企画できることがいいと思うが、最初は行政が企画し、慣れていく方が自然でいいのではないか。 (回答) 具体的な事業の業務でお願いしたい情報をお出しして、いろいろな方に関わっていただきたい。市の立場の視点のみではなく、様々な視点からご意見提案頂いていけるのが望ましい。</li> <li>➤ サポーターというのは個人か・グループか。 (回答) 今までの連携会議でもお話した通り、一旦団体の看板を外していただき、新しいものを創っていきたいという文脈として一旦は進めたい。その内容を進めるためには団体との協力が必要な場合はあるだろうが、その場合どのような名義にするかは相談して決めていきたい。 市とサポーター(団体)と一緒にやっている形をどのように出すのかはわからないが、一旦団体の看板は外して頂くことになろうと思う。</li> </ul>

	アンケート回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・サポーターは単なるお手伝い役ではなく、自主・市事業の企画・運営にも係るといことで、関心が高まった。</li> <li>・サポーター制度も今示されているものでスタートする。山村さんのお話があったように、そちらで準備されている事業を進めていただくところへ、手伝いたい市民が参加させてもらいながら、ルールのあり方同様、あるものを修正・補完していったりすればと考えます。</li> <li>・コロナ禍で具体的に動き出しが足踏み状態だが、動き出す中で現実的な事項が出た上で、検討し進めていくのが最善と思われる。</li> <li>・サポーターについては、イベント時に当日ボランティアとして気軽に参加してもらう仕組み→あわせてポイントを付加するなど、入口となる仕掛けを考えてもいいと思う。</li> <li>・NPOの年間活動にエコreゾートでの活動をどう位置づけようか？と考えているが、きょうの話では、具体化はまだ、と受け止めました。</li> <li>・具体的なテーマに応じて参加できる人材がいるはずです。</li> <li>・サポーターを募集しながら活用がうまくいかないと、サポーターの意欲を失わせることにつながるのではないかと思いますので、活用をふくめて場をきちんと整備しておいてほしい。</li> <li>・サポーターが集まらない場合を想定し、その対策を検討しておく必要があるのではないか。</li> <li>・ご提案の通り、まずは事務局の企画に対し募集をしていくことで良いと思います。</li> </ul>
連携会議の今後について	質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ コロナ前、連携会議はテーマごとに、問題意識あるグループができた。企画を立てて、試験的に…進もうとしたところでコロナへ。分科会じゃないけれど、呼びかけて頂いて、各グループの活動(成果)をプログラムとして生かして頂きたい。 (回答) ご提案のとおりと考える。</li> <li>➤ 連携会議 関係団体 70 くらいある。分野共通している団体は、分野の中でコラボレーションしたり、共有するようにはどうか。 (回答) 配布資料として、これまで連携会議に参加したことのある団体、今回参加している団体をリストとして提供している。かつての連携会議のプログラム検討の10テーマのグループをもう一度再始動するのは、一斉には無理があると考えている。個別のテーマのグループからは、企画を相談されていることもあり、市民への体験機会が実現するための早道となるような形ができるなら、その形をとっていきたい。集まり方のスタイルとしては、分科会というやり方もあると思う。</li> </ul>

アンケート回答

- ・特にありません。
- ・もともとエコreゾートは市民への啓発→浸透→一人立ちを目的としたものであり、今後(市ではく)多様な主体によるネットワークを形成していくことは望ましいかたちかと思われる。
- ・今までの連携会議はひとまず終わり、山村さんからご提案のあった方向を連携会議の参加団体に呼びかけていただいて具体的に活動をスタートさせる準備をしていただけたらと思います。ただし、上記にあるルールについてや、サポーター制度など気づいてくることが多々あると思いますので、それを検討、周知していく上で連携会議は残しておいてほしいと思います。
- ・関係団体(個人)のリストについて情報を充実し、ある程度分野ごとにグループ分けするなどが必要。その上で、連携プロジェクトを企画する場合は、関係団体で募集したり、情報共有するなどが重要である。
- ・イベントで3駅圏に出ることは良いと思う。
- ・エコreゾートが使えなければ、エコreゾートをのぞめるクリーンセンターの回廊、階段、見学ホールの利用を積極的に進めてほしい。
- ・恐れずに具体的な事象を挙げ取り組みましょう。
- ・その他のこととして意見:福祉関係団体に所属しています。高齢独居、高齢世帯、障がい世帯などごみの問題は、片づけられない、物を整理できないなど、生活する中で課題を抱えざるを得ない方々があります。そういった方たちに環境問題に関心をもって実践できる仕組みがないか、模索中ですが、そういうことも連携会議のなかで検討してほしいと思っています。
- ・連携会議は「エコreゾートネットワーク」に繋がっていくと思いますが、実際に施設運営が始まり、事業者はこれからどのように関わっていくのか?と思っています。